(10

# 今後の高校教育を考える

調講演

合田 哲雄 文部科学省高等教育局長 兵庫教育大学客員教授 現在、中央教育審議会で

場で基調講演した文科省の 台田哲雄・高等教育局長は、 去に例のない規模で見直し が検討されている。 大阪会 子校の裁量拡大に向け、過 が昭和33年に制定されてか 以訂の方向性が議論されて 、る次期学習指導要領は、 今回の改訂との決定的な違 ら了回あった全面改訂と、 台の情報端末を持つ時代に いは、児童・生徒が1人1 合田氏は、学習指導要領

訂がこれほど大胆に議論さ った立場から、なぜ次期改 これまで2度の改訂に関わ ア革命」の真っただ中にい 在の子どもたちは「メディ 科書が知識を爆発的に普及 明治時代に学制が始まり教 なったことだと指摘した。 させたのと同じように、現 学校設定科目の上限単位の

ると強調した。 主義と指導書準拠主義、暗 ている次期改訂の核心につ こうした状況で検討され いることも紹介した

記幅重型の入試という「鉄 数の生徒が文理分断型の文 料を含めた直校全体の批半 問題にも言及した。専門学 労働市場と教育の乖離の ると述べた。

教育から、多様性や好奇心、 ら続いた画一的・一斉型の た教育改革」と題する提言 高度成長期か 強調。その上で、中教審が ていかなければならないと を挙げ、個々の能力を上げ として少子高齢化と人口減 日本が抱える最大の課題 せる。 試が広まることに期待を寄 ェルビーイング「多様性」 れる役割、使命として「ウ また、高校教育に期待さ

ばす教育への転換を求める あるべきだと指摘した。 増やすことに資するもので 中 の向上を求めたことに触れ をかけ合わせた「知の総和」 答申で、人口と個々の能力 2月にまとめた大学関連の 教育は将来の選択肢を 就業構造の変化が進む 華では、 ることが重要だと訴えた。 業務の廃止や精選を判断す らの経験に触れ、働き方改 改善だ。経営者としての自 の二つを挙げた。 したのは教員の労働環境の 講演の締めくくりに強調 管理職が率先して

念できる環境が生まれる。 ることで、教育の本質に再 人と向き合う余裕を確保す ながる。教員が生徒一人 ・拡大することが改善につ 「現場の裁量や工夫を保証

っているとの見方を示し 校教育への協力機運が高ま わる企業が増えており、学

# を化と教育の役割」をテー **生命保険会長が「社会の** 査議会会長の橋本雅博・住 東京会場では、中央教育 将来の選択肢増やす教育を

を発表した。

中央教育審議会会長 住友生命保険相互会社取締役会長・代表執行役 経営の視点も踏まえ、文理 ×に講演。経済社会や組織 探究力を中心に個の力を伸

橋本 雅博

経団連の委員会は今年2 必要性を訴えた。 野台教育や探究的な学びの 橋本氏が委員長を務めた |2040年を見拒え Ťς 内容だ。そのためには教員 人材の多様化や専門高校の

学校現場に社員を出向さ で教育に関与することが 任(CSR)を果たす目的 魅力向上も必要だと説明し せるなど、より積極的に関 多かった。しかし、最近は 企業はかつて、社会的責 ų の脱却や文理融合教育を促 橋本氏は、文理分断から

実社会の課題を見つけ、 え、教科学圏の知識を基に の要素は大学入試だと訴 高校教育を変える最大

分科会の冒頭、 「国語で世

界を変えたい」と繋く訴えた一強いものであり、それを私た

古文読解、

高校教論。得意の手品を披露 しながら、言葉というのは、

触れるのと同じようなイマジ 味覚や視覚さえ変え、本物に 辻孝宗·西大和学園中学校·

ネーションを感じさせるほど

ちは扱っていると語った。

古文の解き方の解説では大体」像をつかんだ上で「まと

「欠如」から 神話

るとし、一言で表すと、それ

るかを見る方法を提示。「全

それが一充足」に向かってい に「欠如」した部分を探し、 像をつかむ方法として、最初 の過去間を使い、物語の全体 学入学共通テストや東京大学 ある大多数の物語も同じ流れ と構造が共通しており、世に 法を示した。 まり」「部分」を読み解く方 「充足」に向かうのは、

との意義については、文化を にあるという。

> ら、マイナスをプラスに変える えられないが、解釈を変えた は「優しさである」と言う。 大切さを伝えられることにあ 含めて相手のことを理解する

目の前で起きた出来事は恋

今の時代に古文を教えるこ

とは何かを教えられる教科で こともでき、広い意味で幸せ

の場合、 生徒の論述をループ

もあると結んだ。【東京会場

# まず欠如部分探し

## 埼玉県立浦和第一女子高校 知識構成型ジグ ジグソー法(KCJ)の特長 シー 法 特

板谷大介氏 バート活動②ジグソー活動④ 歌の魅力を考える教材を使 をワークショップ形式で解説 した。最初に参加者が近代短 ①授業前の問い②エキス

の板谷大介教論は知識構成型

クロストーク⑤授業後の問い

教員については、

力が育成されること、論述力 人の発想を学べること、思考 みとして、生徒に関しては、他 が着われることなどを挙げた。 これを踏まえて、KCJの強 授業の成否 を伝えた。何度も使った教材

長 は びが「見える化」されて指導が 最適化することなどを示した。 が確認できること、生徒の学

DCAサイクルを回せること 再利用可能なこと、教材のP ま、または自校用にアレンジ に作られている教材をそのま して使えること、一度作れば 授業づくりについては、

として非常に便利で、義われ 可能になるとした。 リックなどで評価することも そして、探究学習のツール

ことを強調した。【大阪会場 まし合う」文化がつくられる え合い学び合い、支え合い励 に直結すること、学校に た学力は国公立大学二次試験

# 材需要と教育、乖離

ついて個人的見解を述べた。 れているのか、その背景に のトライアングル」をいか ている。 義からの脱却を目指すとし 心に目標や内容を整理する 科で「中核的な概念」を中 中教書では、それぞれの教 に変えるかだと説明した。 |構造化| を進め、網羅主 **Iやロボット分野の専門人** 理職は不要になる一方、 経産省は今後、事務職や管 を生んでいると指摘した。 が社会の人材需要との乖離 系で学んでおり、この状況

合わせた新科目の設定や、 るため、複数の科目を組み 課程を編成できるようにす る生徒の実態に応じた教育 また、高校では多様化す を踏まえ、文科省は近く ぼす」と危機感を伝えた が一将来に深刻な影響を及 は高校での文理分断の弊害 ると試算している。合田氏 材は数百万人規模で不足さ こうした社会の人材需要

引き上げなどが検討されて 分断の脱却も盛り込むとみ 定する見通しで、普通科と 高校教育に関する方針を領 られる。合田氏は、大学と 専門学科のパランスや文理

高校が連携して議論を進め

科会

明介教諭は、学校改革を進め イアルの各ワークを紹介。数学

声や、校内アンケートで好き えるようになった」といった

|図形と式」や |三角

未来を切り開くための後押し たちが学びを楽しみながら で発表を行った。最後に「生徒 し、今年7月に代表者が海外 を参考に新しい法則を発目 ても発表した。担当する

自分たちで考える」を基本に

幅広く応用できるためだ。 最初に教える指導方法を提案 ンについて解説。数学Cの を得たという。

同校の「研究活動」につい

と呼び掛けた。 をする教育の原点に返ろう

【東宗会場

千代田中学校・高校の堀内

題・別解・実験・タイムトラ し、生徒の学びに対する意欲

を引き出しているという。

るよう、工夫を凝らしている。 ら正解に至る過程を体験でき が、仲間と考えを共有しなが

「丸暗紀していた数学を考

「ベクトル」を高校2年生の

次にカリキュラム・デザイ

は、数論に関する有名な定理論ラボ」に集まった生徒4人

る同校での実践を紹介した。

に善手意識を持った生徒たち

な教科2位になるなどの反応

「生徒たちが自分たちで考え

生徒と同じ視点で向き合う

**広島大学附属中・高校の喜** 数学を発見し、数学を創り出

図形分野では、三角形の垂心 イクの後、講演では主に三つ す」をテーマに講演した。 の実践事例を発表。数学Aの ワークを用いたアイスプレ

> を説明した。 心や重心との位置関係の考察

次に、漸化式を用いた数理

に至るまで、五つの学習活動

て探究。喜田氏は「数理モデ

設定し、発展的に探究した事

生徒が新たな課題を

一生徒が考えたくなるよう

の軌跡を考える学習から、外

測することを主題とした。表 ある生物の個体数の推移を予 モデリングの教材を示した。

実践。あみだくじの当たりや ことが大事」と強調した。 を、自然界の現象と関連付け 式に含まれる定数の値を変え

要」とまとめた。【大阪会場 で数学と向き合う意識が重 を組み立て、生徒と同じ視点 な本質に迫る問いを基に授業 例も示した。 察する。 をシミュレーションを基に多 すさに関する予想が正しいか

たアプリを使った確率分布の ルから何が分かるかを考える た関数グラフが収束する様子 計算ソフトを使い、差分方程 関数」など他の分野の学習に

最後は、

・生成AIで作成し

田英昭教諭は「数学を探究し、

きる」と強調。分科会のスラ けAI活用法を紹介した。 「授業も仕事も10倍効率化で |ど文系| でもできる教師向

日頃から文字起こし、教材

と

と紹介した。 法事項を覚えることができる むうちに、自然と仮定法の文

ることで、

「人間にしかでき

日々の業務にAIを活用す

今後重視されるのは「頭と

東進ハイスクール・東進衛 たことを明かすと、参加者か イド資料はAIで全て作成し

墨予備校の安河内哲也講師は ら驚きの声が上がった。 ン業務、

日々の

日本教育新聞社と、東進ハイスクール・

AIで10倍効率化

のAIを使うかではなく、 イングなどを用いたアウトブ

> れがこれからの教師の使命」 塔として、

創造力を磨く。

と締めくくった。

東京会場

を創るかが重要になると強調 ット中心の活動型授業だ。ど 口が動く授業」。例えば、

ング WISH」を流した。 唱させた「英文法完全理解ソ では、AIに作詞・作曲・歌 に任せているという。分科会 作成、さらには作曲までAI

-を活用し、

暗唱やシャドー

「AIを使いこなす司会

Α శ్ర 割くことができるようにな ない創造的な仕事」に時間を

**普段、生徒たちは曲を口ずさ** 

の小林幹長社長(左) 社長(右)と日本教育新聞社 王催の㈱ナガセの永瀬昭幸

で開かれた全体会の会場。東京と大阪ともに、 の高校教員が集まった

星予備校の武藤一也講師は、

東進ハイスクール・東進衛

特

れた。全国から多くの高校教員が集まり、 ション豊かなテーマで講演や分科会が行わ 初めて実施された大学入学共通デストの振

オンラインでも無料配信された。 大盛況となった。セミナーの様子は後日 成AIの教育活用の在り方など、バリエー り返りや、次期学習指導要領の方向性、生 た。現行の学習指導要領の下で今年1月に 1日と4日、東京会場と大阪会場で開かれ する第12回の一夏の教育セミナー」 東進衛星予備校を運営する㈱ナガセが主催

大学の英作文問題で武藤氏と 生成AI活用を解説した。 見を基に、授業準備などでの AIが作成した解答の比較。 まず取り上げたのは、東京

# 英語指導資格CELTAの知

参加者はペアで話し合い、 皮 り』が含まれている」と述べ にはない『想像力』や『気配 の理由として、「AIの解答 「教師の指導経験」 「これまでの『学びの文脈』 が反映さ ンを行い、 リスニングとリー

も強調した。

過去間を用いたミニ・レッス 削しの五つを紹介。これらの ストの作成⑤日本語の文書添 認する質問)の作成④単語リ 成③CCQs (学習理解を確 れている」とも語った。 説明を踏まえ、共通デストの ①英文のチェック②英文の作 生成AIの活用場面として ディングの指導に関する工士

# A I 活 用では遊び心を持とう

の解答に軍配が上がった。そ いと思った方に投票。武藤氏 の作業こそが重要になる」と 断するのは教師になる。 にとって何が必要なのかを判

語った武藤氏。最終的に生徒 のため、一遊び心を持つこと についても解説を加えた。 で豊かな発想が生まれる」と AIは指示通りに動く。そ

日本教育新聞社・㈱ナガセ主催

の広がりと好事例集を紹介。

成彬 片柳 文部科学省高等教育局 大学振興課大学入試室長

- ネット出願が導入され、受験生

はある」などと指摘した。 新たなルールが盛り込まれる可能性

また、共通テストでのCBT(コ

て、「関係者間の議論によって今後、 への制限が必要だとする意見に対し という基本原則に立ち戻る大学の書 定が「多面的・総合的な評価をする」 容認された。片柳氏は、こうした決 件に学校推薦や総合型選抜の「年内 の評価方法を組み合わせることを多

えが反映されたものだと説明した。

講演後の質疑応答では、年内入試

の振り返りと来年度入学者選抜のル **巡りや、入学者選抜における女子枠** 149要領に対応した最初の入試で 今年の共通テストは、現行の学習

大接続の入試改革

なお継 「情報」」等の変更があった

> 人試」で学力試験を実施することが 小論文や面接、実技など2種類以上

> > ロジェクト型学習を実施。 学習の取り組みを紹介した。 ながら進めている同校の探察

Sは個人での探究を行い、

、休袋

動画などで表現。夏休み中に DGSについて学び、成果は

に参加している。

セミナーには同校3年生と、

【東京会場

ビジネスプランのコンテスト 活動に取り組み、SDGsや で課題解決策の提案に向けた いる。2年生では小グループ 明けに発表する機会も設けて

- 年生では、クラス単位でプ

は、企業と連携し 田祥友主幹教諭

最初に高大接続改革の歩みの振り ルの変更点などを話した。 又科省の片柳成彬・大学入試室 今年1月の大学入学共通テスト

## [12回

AIでイノベーション起こす

調義の多くはオンラインで東京大学

自身の研究室から起業する学生も

の入試問題で理科三類の合格最低点

## **℄通テストから**

別講演

# 遠藤 太一郎 授業の対話分析、指導力向

東京学芸大学教育支援協働実践開発 専攻(大学院教育学研究科)教授



㈱カナメプロジェクト取締役CEO

験実施した学習評価のループリック 能性について講演し、附属学校で試 郎氏は、教育分野でのAI活用の可 Oで、東京学芸大学教授の遠藤太一 ける 「カナメプロジェクト」 のCE 企業へのAI導入サービスを手掛

らせ、ループリックに照らして自動 習課題に対する生徒の解答も読み取 み込ませてループリックを作成。学 科で、生成AIに学習指導要領を読 判定する仕組みを開発した。評価結

果を基に、生徒への学習のアドバイ ルにあることが明らかになった」と 的に評価する際の参考にできるレベ スや、教員に指導方法を提案する機 「実践検証によって、教員が最終 の進み具合をリアルタイムで把握し したりすることが考えられる」など たり、データに基づいて個別に対応 日本中の子どもたちに対して、学習

した上で、これを教員の負担軽減に

と述べた。

現に生かしたい

(鹿児 際を、惜しみなくご提

島県・数学科)、AI

の最先端の話が大変分 県・教育委員会

なった。生徒の進路実的で対話的な学びの害

入試を理解する参考と 城県・数学科)、探察

地歴科)【特別講演】で、参考になった (茨

ワークショップに取り組む

夢・志を育む講座

経営者ら 高校生向けに講義

進衛星予備校が高校生向けに開講してい

る特別講座も限定公開された。国が数兆

円規模の支援を行う半導体メーカー・ラ

ビダス会長の東哲郎氏、電機メーカーの

コニカミノルタ前社長である山名昌衛氏、 筑波大学の東野第子教授らが講演した。

https://form.run/@kyoiku-press-sensei2025

日本歌節新聞社

オンラインでは東進ハイスクール・東

参加者たち

わってきた(神奈川県

役割の変化が明確に伝

【分科会】 勉強が苦手

【基調講演】教員の れた(秋田県・英語科

の時代を予想させてく かりやすい。これから

作成の取り組みを紹介した。 遠順氏らは中学校の社会科と国語

AIの技術を組み合わせることで、 ることを予測し、 の指導力の底上げにつながると提案 員同士が共有することで、学校全体 バックや教員と生徒の対話記録を教 また近い将来、技術的に可能にな ーデジタル教材と

に分析させた。AIによるフィード

での教員と生徒とのやりとりもAT を変えていく必要があると指摘し

教員の役割変化を実感/生徒の進路実現に生かせる

教員の指導力向上を目的に、授業

松尾 豊 東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻/ 人工物工学研究センター教授

生成AIが作成したものだ。今年4 のようなその映像は、最新モデルの の動画を紹介した。まるでSF映画 学の松尾豊教授は講演の冒頭、 月には、複数の生成AIが東京大学 ことが示唆された。 術・考え方を説明。その上で、今後 間と同等か、それ以上の学力を持つ を超える得点を獲得。生成AIが人

松尾氏はAIの歴史や鍵となる技

規事業を生み出すサイクル(エコシ

の能域茂雄指導教諭は、昨年 みることが重要だと強調し

 $\mathbf{L}$ 

ANなど本物使い、

体験重視

果京都立三鵬中等教育学校

設定をしたり、実際にさせて み立てて学んだり、本物のし た授業を紹介した。回路を組 体的に取り組めるよう工夫し

教科とのつながりを説明

と好評だったという。 が分かるようになった」など はよく分からなかったが、作 て教えた。生徒からは「初め

「全ての高校生がLANの

CPUの仕組みや役割は

ANを用意してネットワーク

かせることを示し、情報と他数学の集合で学んだことが生 入で中学理科の回路図や高校

っているうちに回路の仕組み

あるが、生徒が自ら体験する 氏が用意したサーバーに、1

一知識として教える部分も

CPUを学ぶ授業では、導

廃場氏自作の回路影材を使っ

度の実践の中から、生徒が主

ステム) をつくることだという。東 競争力を強化。それをきっかけに新 材を育て、共同研究によって企業の ーションのスパイラル」だ。AII プが出ている。目指すのは「イノベ 多く、これまで55社のスター 以外の学生にも提供している。

てて作業する「AIエージェント」 自動化が進むと指摘した 展し、頭脳労働と肉体労働の両方で と、AIを組み込んだロボットが発 られた目的に合わせ、自ら計画を立 の技術進展の見通しについて、与え

大学ではデータサイエンスやディ 開をしている。 学校現場では今後、

が、松尾氏は「AIを使いこなすだけ 総合的な力が必要になる」と話した でなく、法律や経済を理解したり、 人の気持ちに共感したりするなど

つなげるためには授業の構成など

ープラーニングの講義を連営する。

# 南アジアやアフリカなどにも海外展 前提とした学びが見込まれている

**指導教論は冒頭、大学入試セ 分析委員会報告書」を基に、今** 

授業づくりでは、言語化を

る力を育成するためには、解

れば、こんなにすてきなこと だことが共通テストで生かせ ただプログラミングを書くだ か」と訴えた。 めていくことがVUCA時代 になる。そのような内容を含 ことで次の学びに使えるよう 人1台端末を接続した。

また、問題を発見・解決す

を促した。 けで終わってしまう」と注意

小原氏は「授業で取り組ん

必要がある。共通テストでも クの授業では、 しい」と能域氏。ネットワー 設定をできるようになってほ

本物のルータ

の学びにつながるのではない

【東京会場

後の共通テストの出題傾向を

らない。学習指導要領解説をい 作成方針も7年度とほぼ変わ 分析した。「令和8年度の問題

ま一度しっかりと確認してほ

言語などに『見える化』 決力を育成することを心掛け させることで思考力・問題解 しい」と参加者に呼び掛けた。

する

ールをきちんと示さないと、 何かの問題を解決するための とが重要だという。「本来、 決(ゴール)を明確化するこ る」と指摘する。 言語化する能力が問われてい

は目に見えないものなので、 ているという小原氏。「情報

プログラミングのはずが、ゴ

っていきましょう」と話した。 われ教員が日々アンテナを張 はない。そのためにも、 東京都立国立高校の小原格 ンターがまとめた「問題評価・

言語化させる授業を心掛け

### とはないのではないか」と見解を述 難しい。今後数年で大きく変わるこ られるため、すぐに導入することは ンピュータ型テスト)実施の見通し 試では公正性や公平性が厳しく求め を尋ねられると、片柳氏は「大学入 分科会

私立大学が学力検査を年内に前倒し 登録していると紹介した。 専用サイトには8月までに20万人が 演では出願の流れについて解説し、 が出願手続きを行うことになる。 返った。共通テストは来年からイン 応するために必要であった」と振り ながらも「情報の多い現代社会に対 字数の多さを訴える声があったとし 片柳氏は、試験全体として設間の文 が、大きなトラブルなく運営された。

一方、個別入試では昨年、一部の

し高校の代表者による協議の結果、 2問われた。 しかし、その後、 大学 で実施したとしてガイドライン違反



探究の分科会の様子。次期学習指導要領でも

探究学習の質の向上が目指されている

テーマ(軸)を築く、 けでなく、卒業後の人生での 入試で求められているからだ 平教論。学習指導要領や大学 館宇治中学校・高校の選井淳 段階に入ったと強調した立命



と、探究に取り組む重要性に 成に向けて探究を核に取り組

んでいるという。

加省を鼓舞した。

超えて成長する貴重な時間だ 要だと話した。同校では、自 必要だと指摘し、生徒自ら学 象と見る生徒観からの転換が ある。生徒を管理・指導の対 ら価値を生み出せる人材の育 ぶ力の育成に向けて探究が重

分で国や社会を変えられると 方、「将来の夢がない」「自 子どもたちは学力が高い 思えていない」などの課題が なることが問われていると参 るとして、現場で試行錯誤し と生徒の学びは相似形」であ 掛けた。また、 て学び、成長する教員集団に 「教員の学び

がると指摘。探究の学びを振 ポートの積極的な活用を呼び り返る際にはキャリア・パス かが、探究の質の向上につな みたいと思えるテーマで、姪 究的なサイクルを多く回せる

国際比較調査から、日本の

探究は実践の質が問われる

ャ

リア・パ

スポート Ó 用 を

ーランドへの語学留学の際 とを説明、卒業生はニュージ してカツサンドを販売したこ ニューや、地元の商店と連携 料で育てた豚を使った食堂メ の廃棄食品などからできた飼 た めて進めていく必要性も訴え

食品ロスの削減に向け、工場 3年生の生徒は、事業系の その上で、管理職が覚悟を決 くことが大事」と強調した 蛭田氏は「積極的に教員が動

探究学習の推進に向けて

東京・大阪 2会場活況、配信も

探究

積極的に教員が動くこと大切

・附属中学校の蛭

に、現地の生徒と一緒に算む へ届けたことを紹介した。 育支援としてバングラデシュ の教材を作り、途上国への教

探究の学びや成果を話した。

大学4年生の卒業生も登壇し、

### ※今後も高校の先生方に役立つセミナ を開催していく予定です。

本セミナーが今後も共に学び 本セミナーが今後も共に学び 合う場となるために、セミナー への期待やご意見をお寄せくだ さい。今後のセミナー企画の参 考とさせていただきます。